

〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3  
電話番号 0969-22-3668 FAX番号 0969-24-4393  
電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp



## 稲発酵粗飼料(イネWCS)について知っていますか？

突然ですが、問題です！  
イネWCSは作ってから、最短で何日で給与できますか？



(答え) 「**60日以上**」

(理由は?)

一般的なサイレージは、ラッピング後、1カ月程度で発酵が安定します。  
イネWCSについても同様で、発酵の進む速度は材料であるイネの収穫熟期や水分含量、切断長などで異なりますが、利用開始は詰め込み後1カ月を目安にします。  
しかしながら、**肝てつ症**の心配がある場合には、**2カ月程度**たってから給与します。

**ただし**、イネWCSの発酵には、**適切な水分含量が必要**です！  
適切な水分量は、50~65%です。  
イタリアン乾草と同様に乾燥させた、水分量が少ないイネをラップしても、発酵しないためpHが低下しません。そのため、肝てつの幼虫は60日で死滅しません。  
水分量が少ないイネを使ってラップしたものは、通常の稲わらと同様によく乾草させてラップしてから**4カ月以上経ったもの**を給与しましょう。

## 肝てつ症って何？

肝臓に寄生する、体長2~5センチメートルの寄生虫です。  
最近、家畜保健衛生所で感染がよく確認されています。  
主に稲わらに付着した肝蛭の幼虫を牛が摂食することによって感染します。その後、幼虫は牛の肝臓で成長し、感染後3ヶ月程度で成熟した成虫となり、産卵を開始します。卵は糞とともに排泄され、水田や小川などで発育します。  
感染すると、削瘦、貧血、食欲減退、繁殖障害などの症状を呈すこともありますが、症状を呈さないことも多いです。  
痩せてきている牛がいて気になった場合には、家畜保健衛生所で検査できますのでご相談ください。  
感染していたら、駆虫薬を飲ませることによって、治療できます。かかりつけの獣医師にご相談ください。



(原図:長野県)

# 夏季休暇中の防疫対策の徹底について

本年に入ってから、口蹄疫、アフリカ豚コレラ等の家畜伝染病の我が国への侵入リスクは、依然として高い状態のままであると考えられます。

このような中、夏季休暇中は口蹄疫等が発生している国を含め、諸外国との人や物の動きが、一層激しくなります。

つきましては、より一層の口蹄疫等に関する情報の共有に努め、改めて畜産関係者の危機意識を高めるとともに、我が国における口蹄疫等の発生を未然に防ぐため、従来からの防疫対策に加え、特に下の事項に留意のして、口蹄疫等の発生予防措置の徹底及び監視体制の強化に万全を期すようお願いいたします。



- 畜産関係者等の海外渡航の自粛等の指導の徹底について
- 衛生管理区域への病原体の持ち込み防止の再徹底について
- 早期通報の徹底について

## 近隣諸国における悪性伝染病発生情報

アフリカ豚コレラ	欧州・ロシア等	2007年以降～（継続発生） 6月10日～6月29日（直近発生）	豚・いのしし
	ミャンマー	7月16日	家さん H5N1
		6月29日～7月13日、7月16日	地鶏 H5N2
高病原性 鳥インフルエンザ	台湾	6月29日	あひる H5N8
		6月28日～7月6日、 6月22日～6月27日	あひる、七面鳥、 地鶏、がちょう H5N2
	ベトナム	7月4日	家さん H5N1

平成29年8月1日時点

**通報**

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。  
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668



毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」

くまもと県畜産課